



蒲郡文化

No.221

蒲郡市栄町3番30号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

市民が身近に感じる博物館をめざして

蒲郡市教育委員会

蒲郡市博物館長 竹内真治

蒲郡市博物館は昭和54年に蒲郡市郷土資料館として現在の場所に開館し、昭和63年には西館を増築、展示を更新しギャラリーを設置いたしました。その後、平成元年4月に蒲郡市博物館と名称を変え、現在に至ります。この博物館ができたことにより、貴重な資料を安全に管理できる収蔵・展示設備が備えられ、文化財所蔵者などから資料の寄託を受けたり、調査研究・公開のために借用したりすることができるようになりました。令和3年4月1日現在、市内の指定文化財は市指定文化財が100件、国と県を合わせた市内指定文化財全の件数は136件となっています。

業務としては大きく2つの業務があり、1つ目は資料等の展示や収集保管及び教育普及などの業務、2つ目は文化財保護行政に関する業務で、指定文化財保護、郷土芸能の保存、遺跡の発掘調査などの業務があります。この文化財保護という業務が一般的な美術館や博物館と異なる部分になっています。

博物館においては地域密着型の展示を心がけており、ファミリーで来館できるような親しみのある企画展等を開催しております。また、ギャラリーでは、絵画・工芸・写真等の創作活動をされている市民の皆さんが作品発表をされています。年間、約3万人前後が入館されていますが、令和2年度はコロナ禍の影響のため、大幅に入館者数が減少しています。今後は入館者数の回復が課題となります。

蒲郡市博物館では今夏、戦国時代に蒲郡市内を本拠地とした竹谷松平家・形原松平家・五井松平家に関する文化財を令和3年7月17日(土)から8月29日(日)まで展示をいたします。

特に今回は東京に在

住の五井松平家の子孫の方と初めて連絡を取り、伝来の貴重なお宝をお借りして展示いたします。また、京都府亀岡市からも形原松平家ゆかりの文化財を借用・出品いたします。

本展を通じて、ふるさとの昔を知ること、地元に関心を持っていただき、故郷を愛する心をはぐくんだければ幸いです。みなさまぜひお越しください。

蒲郡市博物館は今後も地域と連携し、企画展・季節のイベント等を通して、ファミリーで楽しめ、市民が身近に感じる明るく楽しい博物館をめざしてまいります。



竹谷松平家ゆかりの具足



松平清昌像

令和3年度 文協被表彰者紹介

4月24日の総会において次の6名の方が表彰されました。

《文化賞》

金原 久雄 【謡曲部会】



【略歴】

平成10年文協入会。平成25年～30年まで文協会長。平成25・26年度県文連の副会長。平成29年度県文連芸能大会を蒲郡で開催。

《文化賞》

小林 憲三 【写真部会】



【略歴】

昭和60年写真集団「雲」入会とともに文協入会。平成23年度から部長。平成27年度～令和2年度文協副会長として尽力。

《功労賞》

内田 陽子 【俳句部会】



【略歴】

平成4年「三河」に入会と同時に文協俳句部会に入会。平成25年より理事・会計。また、楠若葉編集委員として楠若葉の発刊に尽力。

《文化賞》

鈴木 康祐 【工芸部会】



【略歴】

平成11年～平成20年度部会長。平成21年度～令和2年度事務局長。文協創立40周年、50周年の事務局長。

《文化奨励賞》

井野 佐登 【短歌部会】



【略歴】

結社「まひる野」に所属。平成15年に文協入会。市民文化祭・蒲郡俊成短歌大会の選者。中部日本歌人。2019年中日短歌大賞受賞。

《功労賞》

壁谷 禮伺 【俳句部会】



【略歴】

昭和34年「三河」入会。昭和63年俳人協会会員となる。平成23年～令和2年度俳句部会長。県文連40周年記念誌編集長。

令和3年度総会は、4月24日東ホール全面を使って行われた。



鈴木市長
挨拶



今枝衆議院
議員挨拶

2年度は総会が開かれなかったこともあり、2年度予定されていた3名に今年度の3名を加えた6名が表彰された。

また、新役員が選出され、中村会長、石川新事務局長のもと新しいスタートをきった。

コロナ禍という事もあり、総会後のアトラクションは中止となった。



新役員紹介



総会風景

令和2年度 事業報告および収支決算

- ・総会は書面表決とした。
- ・春の文協まつり、文化財めぐり、月例茶会全8回 中止
- ・市民文化祭 10月31日～11月23日、参加者1,004名
- ・歌・句集「楠若葉39」令和2年度版、11月1日発行 短歌56名、俳句113名寄稿。
- ・文協講座 2講座、開催延日数6日、受講者27名。
- ・機関紙発行 蒲郡文化217号から219号まで3回発行。
- ・市民病院ギャラリー展示 9月、3月は新型コロナ感染拡大防止のため中止となった。
- ・市民会館ギャラリー展示 短歌・水石部会（7月）、水墨画部会（9月）、
県文連美術展入賞作品（11月）、俳句部会（2月）は中止。
- ・文化事業 文協特別芸能大会として準備したが、中止となった。

【収入の部】

【支出の部】

項目	収入額(円)	説明	項目	支出額(円)	説明
1. 繰越金	167,192	前年度繰越金等	1. 会議費	65,039	総会費等
2. 会費	2,115,700	正会員 1,000円×1,495名 18歳未満会員 300円×169名 特別会員 5,000円×114名	2. 事務費	2,048,150	事務局費、旅費、通信連絡費、 慶弔費、負担金等
3. 事業収入	158,000	講座参加費、楠若葉投稿料 県美術展出品料等	3. 事業費	2,211,751	機関紙発行、文協まつり、 講座、市民文化祭等
4. 補助金	754,870	蒲郡市	4. 予備費	0	
5. 負担金	1,452,920	市民文化祭	5. 積立金	140,000	文化事業、職員退職金
6. 雑収入	14,012	利息、コピー代等	6. 残高	197,754	次年度へ繰越
収入合計	4,662,694		支出合計	4,662,694	

文協創立50周年記念事業報告および収支決算

- ・文協創立50周年記念市民文化祭として開会式を実施、出席者197名
- ・記念事業として、博物館にて特別展示、ポスター展を実施
- ・記念誌「文協のあゆみ」発行

【収入の部】

【支出の部】

項目	収入額(円)	説明	項目	支出額(円)	説明
1. 積立金	908,399	周年事業積立金	1. 記念式典費	92,519	謝礼、記念品等
2. 補助金	700,000	蒲郡市	2. 記念事業費	108,880	特別展示費
			3. 印刷製本費	1,407,000	記念誌印刷費、通信費等
収入合計	1,608,399		支出合計	1,608,399	

令和3年度 事業計画および収支予算

- ・総会
- ・春の文協まつり
- ・月例茶会
- ・市民文化祭、文化財めぐり
- ・歌・句集「楠若葉40」令和3年度版、11月1日発行
- ・文協講座
- ・機関紙発行 蒲郡文化220号から223号4回発行
- ・市民病院ギャラリー展示 9月、3月入替
- ・市民会館ギャラリー展示 写真部会（7月）、工芸部会（9月）
県文連美術展入賞作品（11月）、書道部会（2月）
- ・文化事業

【収入の部】

【支出の部】

項目	収入額(円)	説明	項目	支出額(円)	説明
1. 繰入金	1,147,754	前年度繰越金、積立金	1. 会議費	140,000	総会費、その他会議費
2. 会費	1,962,000	正会員 1,000円×1,270名 18歳未満会員 300円×140名 特別会員 5,000円×130口	2. 事務費	2,005,000	事務局費、旅費 通信連絡費、慶弔費等
3. 事業収入	2,185,000	講座参加費、楠若葉投稿料 文化財めぐり、県美出品料 文化事業入場料等	3. 事業費	6,185,000	機関紙発行費、文協まつり、 文協講座、市民文化祭 県文連事業費等
4. 補助金	1,600,000	蒲郡市	4. 予備費	40,000	
5. 負担金	1,500,000	市民文化祭	5. 積立金	40,000	職員退職金
6. 雑収入	15,246	利息、楠若葉販売、コピー等			
収入合計	8,410,000		支出合計	8,410,000	

令和3年・4年度の役員・委員会委員の皆さまです。よろしくお願ひします。

ボ ス タ ー 委 員	編 集 委 員	監 事	洋 楽	舞 踊	邦 楽	謡 曲	箏 曲	吟 剣 詩 舞	舞 踊 ・ 音 楽 部 門 【 部 会 長 】	工 芸	写 真	書 道	水 墨 画	絵 画	美 術 部 門 【 部 会 長 】	菊 花	水 石	臯 月 盆 裁	茶 道	華 道	俳 句	短 歌	文 芸 ・ 教 養 部 門 【 部 会 長 】	事 務 局 長	副 会 長	副 会 長	副 会 長	会 長	
鈴木 幸枝	横田 英夫	牧原 克子	鈴木 康祐	平田 正文	原勝 久	西川 佳久	水野 博行	近藤 精一	野々 山明子	新井 信行	【 運 営 委 員 】	杉浦 才	奥原 哲雄	壁谷 桔華	榊原 公平	伊藤 裕一	羽田 喜久司	平岩 尚文	安部 正和	鈴木 博翠	小田 芳園	牧野 一古	鈴木 美耶子	石川 貴裕	佐野 哲子 (舞踊・音楽部門)	鈴木 康祐 (美術部門)	竹内 慶星 (文芸・教養部門)	中村 達	
牧原 重夫	杉田 翠風	齋藤 とし子	鈴木 美耶子	小林 憲三	広浜 洋子	三喜 藤菊	中村 弘味	杉浦 弘保	仲田 武司	田中 章子	【 運 営 委 員 】	近藤 佐代子	市川 千城	近藤 弘安	佐野 孝子	竹内 律子	【 運 営 委 員 】	河井 宏幸	広浜 弘泰	上林 俱文	平井 宗昌	浅井 慧雲	三田 土龍	本多 礼子	【 運 営 委 員 】				

《副会長退任のご挨拶》

出会いに感謝

小林 憲三

2期6年、副会長という大役を務めさせていただきました。あつという間の6年間でしたが、この間、いろんな方にお世話になり、ほんとうに有難うございました。

私の所属は写真部会ですが、写真の最大の魅力はカメラを通じた出会いです。カメラを持って出かけるというんな出会いがあります。例えば、普段は気づかないなんでもない風景も、ある時突然光と風でお洒落して「私を撮ってよ」と言わんばかりに語り掛けてきます。その時夢中でシャッターを押します。風景との一瞬の出会いです。

文化協会の最大の魅力は、写真と同様いろんな新しい出会いがあることかなと思っています。春の文協まつり、秋の市民文化祭。そこでは、素晴らしい作品・演技・演奏に出会えます。この出会いから、沢山の刺激をいただき、自身の創作意欲が湧いてきました。

蒲郡市文化協会においても更なる発展と会員相互刺激を与える活動をしていただけることを願っています。

《事務局長新任のご挨拶》

会員のために

石川 貴裕

本年度より事務局長に就任しました石川貴裕（よしひろ）です。今まで三十八年間普通の会社のサラリーマンで設計の仕事をしていました。実を言うと設計は理詰めで成り立たせていて、例えば「ここここを滑らかにつなぐ」という表現ではなく、「角度何度、長さ何ミリ、誤差何ミリ以下」という世界で、文化協会の活動のような感性や感覚とは正反対のところにあります。しかし私は、設計は根本的なセンスが重要だと思っています。芸術的センスのない私は、少しでもカバーして仕事に活かせないかと思ひ書道教室に十数年通っていたのですが、その成果を見ないままついに昨年定年退職してしまいました。

従って文化協会の活動については全く分からない状態ですが、役員の方々のご指導を仰ぎながら、会員の皆さまへ喜びや笑顔が提供できるようにこれから努めていく所存です。皆さまのご指導とご協力をお願い致します。

ふるさと文化財の誌（十五）

しじょうかわはらゆうらくずびようぶ 四条河原遊楽図屏風

（天桂院）

竹谷松平家の菩提寺である天桂院（曹洞宗）に「四条河原遊楽図屏風」（縦一一〇cm・横一七五cm）の二曲一隻の中屏風が保存されている。平成二年二月に県指定の文化財となっている。

本屏風は京都四条河原で行われた遊女歌舞伎風景を描いたものである。「四条河原遊楽図」は近世初期の風俗画を代表するもので、天桂院本はその中でも極めて古い形態を示した貴重なものである。

本屏風の上部は金雲が上下二重に掛り、その間に遠山と松林社殿が描かれている。

左半分は、竹矢来に囲まれた佐渡嶋座の歌舞伎小屋を一軒大きく描かれている。舞台上には男装して三味線や刀を持つ遊女が見え、棧敷・土間は大勢の観客で埋めつくされ楽しんでる様子がわかる。右半分は鴨川の河原で、射的、吹き矢やキセル煙草を吸って楽し

みながら観覧する人々の姿など細部で冴え渡る風俗描写は初発性を思わせるものである。約二五〇人弱の人物が描かれており当時の風俗を知るに貴重なもので眺めていて見飽きないものである。

天桂院本は「四条河原遊楽図屏風」の現存する数々の中でもわが国に於ける貴重な文化財である。このため天桂院本は今まで全国各地の博物館の要望で貸出され公開されている。



徳川家康 没後四百年に市博物館で平成二七年八月に「天桂院の文化財―竹谷松平氏の歴史―」の企画展が開催されたときに展示され

れ注目された。

蒲郡市にこのような貴重な文化財が現存するのは市の誇りである。写真 市博物館提供 文 林正夫

俊成短歌大会開催

4月29日 市民会館東ホール

コロナ禍、前回は、俊成短歌大会は中止となりましたが、今年は何とか開催できないかと実行委員会ですらいろいろと検討され、栗木京子さんの講演は次回に、会場は中ホールから東ホールに変更して市内在住者に限っての開催となりました。

中村実行委員長のあいさつ、鈴木市長のあいさつのもと、小中学校の入賞者の表彰、一般上位入賞者の表彰がおこなわれました。そのあと、選者島田先生、小塩先生に地元選者中村先生、井野先生、そして栗木先生はネット回線で繋いでリモート参加での5名による入賞作品の講評が行われました。



例年とは違った開催となり、いろいろとご苦労があったときいておりますが、無事開催でき良かったと同時に次回はいつもの大会が開催できることを願っています。



第三十六回

蒲郡俊成短歌大会

4月29日(祝) 東ホール

入選

ストーブに置かれし薬缶が音を立て
テレビの音量ふためもり上ぐ

鈴木 憲治

徘徊の老女の姿もこの町の
日常となり夏が過ぎゆく

齋藤とし子

にれの木立抜けて近づく夏帽子
笑い声まず先に届きて

後藤 厚巳

奨励賞

脳出血身障者一級要支援
八十三歳エクセル操作す

伊藤 治輝

寒き夜に君が煮込みし大根に
熱燗の酒よくよく似合ふ

林 正夫

文協会員のみ掲載

春の文協まつり 俳句大会

本年度は、当日句は取りやめ、募集句だけに絞り、入場者も制限した中で行うことで進めてきましたが、残念ながら大会は開くことが出来ませんでした。募集句は、書面選考にて入賞者も決め、賞状は個々にお渡しし、詠草集は句会ごとに郵送しました。来年度は、楽しく俳句大会が出来ますことを願っています。

令和三年度

春の文協まつり

俳句大会 (募集句の部)

【蒲郡市長賞】

草を食む山羊の歯音の暖かし

石井ヤエコ

【蒲郡市議会議長賞】

鯉の尾の跳ねて潰えし花筏

小川 しげ

【蒲郡市教育委員会賞】

初燕潮騒とどく道の駅

平野 京子

【蒲郡市文化協会賞】

網振りて蝶を追う子を蝶が追う

金田 満子

【佳作】

永き日の去り際にまた立ち話

内田 陽子

うぐひすに犀が片耳廻しけり

牧野 一古

燕来る合格駅の屋根掠め

渡辺みつ子

春風にお守り弾むランドセル

千賀 幸子

県文連芸能大会・春の文協まつり芸能発表会にむけて

～コロナ禍での取り組み～

去年は春の文協まつり、市民文化祭は芸能発表会、箏曲・洋楽発表会が出来ない一年でした。

今年も、公民館での練習が3月から少しずつ再開できるようになってきたのに、5月に入ってまた使えなくなってしまいました。春の文協まつりも中止。そんな中でも、なんとか文化の灯はともし続けなければいけないと、7月の県文連の三河支部芸能大会はなんとか開催したいと頑張っていますし、協会も5月の芸能発表会を7月に行いたいと調整をしています。

また、出演予定のグループの皆さんも、ステージに立ちたい、立つ以上は恥ずかしいステージにはしたくないと、公民館などが使えない状況の中、なんとか練習をして皆さんに良いステージを見て頂こうと頑張っています。そんなグループの取り組みの一部ではありますがご紹介をします。

■蒲郡市吹奏楽団（県文連芸能大会出演）

5月の緊急事態宣言が出るまでは、市民会館、信用金庫さんのホールで練習をしていましたが、今は使えなくなってしまいました。そんな中メンバーの伝手を頼って他市でも練習出来るところを探し、5月は市民交流センターで二回練習が出来ました。楽器の運搬など大変ですが団員の協力で頑張っています。

■コカリナアンサンブルドルフィン（県文連芸能大会出演）



普段は、公民館で行っているのですが、使用できないときは海辺の文学記念館の隣にある公園や若宮公園などで、感染予防をしっかりとした上で練習をしています。やれる時にやれる事を行うことでモチベーションを保ちつつ、一人一曲の課題曲を決め発表の場を設定して目標をもって家でも練習できる機会を作って、頑張っています。

■大正琴 さざなみ& JA

普段は、JA、生きがいセンター、蒲郡公民館でそれぞれ月2回稽古をしています。使えない時は集会場で感染予防対策をしっかりと行って、いつもより少ない時間ですが、なんとか稽古を続けています。また家でも時間をとって頑張っています。



■蒲郡雅楽倶楽部



入口で手の消毒、窓は両側開けて、寒い時暑い時にはエアコンを入れて窓を開ける。一人分以上の間隔を開けて座る。演奏時以外はマスク、会話は避ける。必要時にはマスクする（先生は説明時にマスク）と出来る事はすべて行って注意しながら練習をしています。

この蒲郡文化7月号が皆様の手元に届くころには、緊急事態宣言が解除となり、発表会が行われることを願っております。

- ・県文連芸能大会は7月11日(日) 豊橋市民文化会館 12時30分より
- ・春の文協まつり芸能発表会は7月22日(木・祝) 東ホール 10時より

お 知 ら せ

芸能発表会

5月の春の文協まつりは中止となりましたが、芸能発表会は7月に行う事になりました。
 会 場：市民会館 東ホール
 日 時：7月22日(木・祝) 午前10時～午後3時
 出 演：吟剣詩舞・大正琴・雅楽・相撲甚句・舞踊

第46回愛知県文連美術展 出品作品募集

【会 期】 9月22日(水)～26日(日)
 【会 場】 愛知県美術館ギャラリー
 【作品受付】 8月10日(火)～24日(火) 日本画・洋画・工芸・彫刻・書
 【出 品 料】 4,500円(高校生/大学生は2,000円)
 出品申込書は文協事務局にあります(8月19日までに事務局へ)

文化財めぐり参加者募集 11月17日(水)

【行 先】 愛知・岐阜方面
 【参 加 費】 8,500円予定(拝観料・昼食代含む)
 【締 切】 10月29日(金)
 直接文協事務局へ、又は往復はがきにて
 参加費は後日納入

歌・句集「楠若葉40」投稿募集

【投稿規定】 一人5首または5句
 【投 稿 料】 500円(1冊配本)
 【締 切】 7月22日(木)
 投稿料(500円)を添えて文協事務局へ

市民文化祭 短歌・俳句募集

【投稿規程】 短歌 未発表近作 1首
 俳句 未発表当季雑詠 2句

- ・投稿料無料
- ・応募はがきまたは官製はがきに住所、氏名、電話番号を明記のこと
- ・市内在住・在勤、歌会・句会在籍者。または文協会員であること

【募集期間】 令和3年10月4日(月) 必着

【送 り 先】 〒443-0035 蒲都市栄町3-30
 蒲都市文化協会

市民会館の催し物 (問合せ TEL68-5509)

蒲都市吹奏楽団 Summer Concert2021	8月1日(日)
第55回硯山書院一門展	9月11日(土)・12日(日)
月例茶会 席主：遠山 翠雲(表千家)	9月12日(日)
月例茶会 席主：中野 宗恵(表千家)	10月24日(日)
図書館の催し物 (問合せ TEL69-3706) 特別図書整理休館9月24日(金)～30日(木)	
ブックトーク 読書感想文におすすめの本紹介します!!	小学生向け7月 3日(土)・10日(土)・17日(土) 中高生向け7月11日(日) 各午後2時～3時
読書感想文教室(小学生向け)	7月4日(日)・18日(日) 市民会館大会議室 1、2年生 午前9時30分～11時30分 3年生以上 午後1時30分～3時
自然とあそぼう展	7月10日(土)～8月1日(日)
英文多読講演会@オンライン	7月25日(日) 午後1時30分～3時
交通安全ポスター展	9月9日(木)～23日(木・祝)
博物館の催し物 (問合せ TEL68-1881)	
夏休み子ども工作ルーム	7月31日(土)～8月29日(日)
木目込み人形作品展	9月10日(金)～9月12日(日)
SL写真とミニチュア機関車展	9月18日(土)～20日(月・祝)
のびる子作品展	10月23日(土)～10月26日(火)
企画展「1964 東京オリンピックの頃」	4月10日(土)～令和4年3月27日(日)